

石室西壁の損傷事故について

文化庁

報道の経緯

NHKニュース(平成18年4月12日)において、平成14年1月の壁画損傷事故と同3月の補彩に関して、文化庁が事実を公表していなかったことが指摘された。

本件に関する過去の公表経緯

公表していない

背景

前年から続くカビ対策の中で起きた事故

(cf. 平成13年12月 石室内カビ大発生)

損傷日

平成14年1月28日

カビ対策作業、微生物調査等を実施

損傷①(平成14年1月28日)

西壁男子群像の下方床面近くの無地
(漆喰)部分に線状の傷(約8cm)



損傷②(平成14年1月28日)

西壁男子群像のうち左から2人目の緑衣像
の胸部付近に半円状の傷(φ約1cm)



損傷の原因（日誌等から）

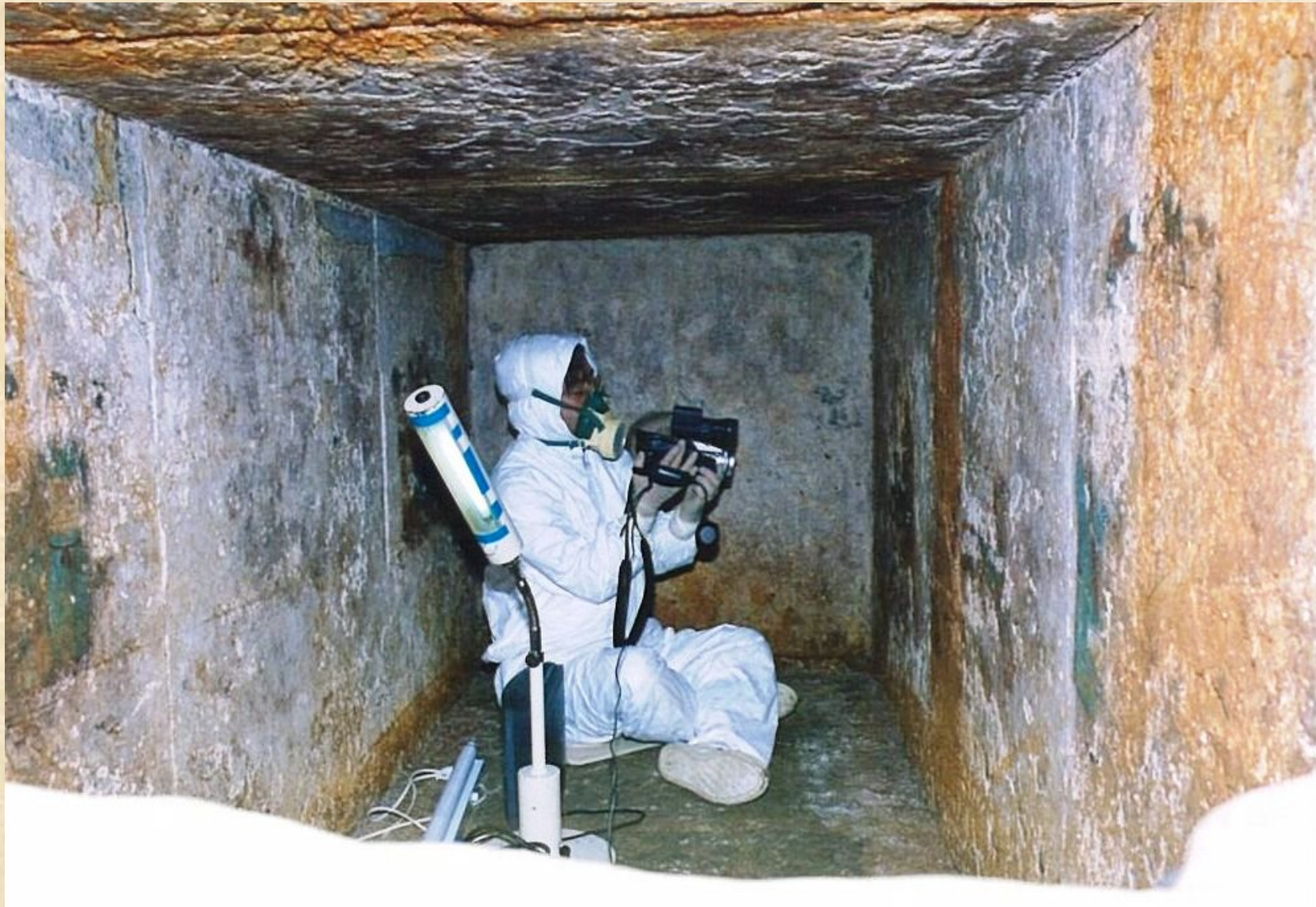
損傷①

作業中に空気清浄機が転倒

損傷②

作業中に室内灯の先端が壁面と接触

空気清浄機と室内灯 (平成14年1月28日)



事故後の処置

1月28日(事故当日)

損傷②周辺が剥がれかけていたため、
剥落止処置を実施

3月28日

補彩作業を実施(損傷①、②とも)

剥落止処置(平成14年1月28日)



補彩作業(損傷①) 平成14年3月28日)



補彩作業(損傷②) 平成14年3月28日)



補彩後の状況(損傷①)



*『国宝高松塚古墳壁画』(平成16年刊行)掲載写真を拡大して転載

補彩後の状況(損傷②)



*『国宝高松塚古墳壁画』(平成16年刊行)掲載写真を拡大して転載